

浜の活力再生プラン  
(第 2 期)

## 1 地域水産業再生委員会 (浜プランID 1108002)

組 織 名	大洗町地域水産業再生委員会
代表者名	委員長 飛田 正美

再生委員会の構成員	大洗町漁業協同組合、大洗町
オブザーバー	茨城県漁政課、茨城県水産試験場、 茨城沿海地区漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	東茨城郡大洗町 沿岸小型船漁業(69)
-----------------------	------------------------

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>大洗町は、茨城県沿岸部のほぼ中央に位置し、暖流・寒流が交錯する豊かな海域の中、シラス(大洗港水揚額の約 7 割)を中心にヒラメやタイなど多様な水産物の水揚があります。また、大洗岬から利根川河口まで広がる砂浜域鹿島灘には鹿島灘漁業協同組合、はさき漁業協同組合とともに共同漁業権が免許されており、貝けた網漁業によって鹿島灘はまぐりやホッキ貝が水揚されます。</p> <p>漁業勢力としては、1ヶ統の大中型まき網が平成 29 年に廃業し、5 トン未満の沿岸小型船漁業と 6.1 トン底びき網漁業のみとなり、シラス漁を行う船びき網漁業を中心に貝けた網、固定式さし網、釣り、たこ樽流し、磯根漁業など漁業者は対象魚種に合わせて漁法を切り替えて操業を行っています。</p> <p>しかし、当地域の水産業の現状は、漁業収入に大きく寄与していたはまぐり資源の減少、海況変動に伴う不安定な漁獲、魚価低迷の常態化、さらには燃油価格、漁業資材価格の上昇、漁業者の高齢化などにより大変厳しい状況となっています。</p> <p>また、当地域では荷揚げ作業や水揚カゴ容器の洗浄など陸周り作業を高齢化が進む漁業者の妻が務めており、作業の省力化・軽労化が喫緊の課題となっています。</p> <p>そのような中、平成 28 年度には荷揚げ作業省力化対策として、大洗町漁協がベルトコンベア 2 台を自主事業で整備し改善を図ってきましたが、水揚カゴ容器の洗浄については依然として手洗いで行われており、その対策が求められています。</p>
---

## (2)その他の関連する現状等

### ○観光業との連携

大洗町は、漁業のみならず県内随一の観光地として年間 450 万人の交流人口を活かした各産業の連携を図る取組を行っています。

GWに開催する大洗サンビーチでの地曳網は、受付開始間もなく定員に達するほど好評で、大洗町に対する水産物のイメージは着実に定着しています。

そのような中、平成 22 年に市場前にオープンした大洗町漁協直営、女性部が切盛りする「かあちゃんのお店」は連日長蛇の列ができ、年間 10 万人以上の来客者、年間売上 130,000 千円を記録する繁盛店に発展し、漁港区の賑わい創出の拠点になっています。

### ○市場イベントの開催

平成 23 年の東日本大震災に伴う福島第一原発事故による風評被害を払拭するため、同年より市場を会場としたイベントを大洗町主催により開催しています。

現在、春シラスを題材とした「しらす祭り」(6 月)、ホッキ貝を題材とした「ホッキまつり」(10 月)を毎年開催し、各 1 万人を超える来場者を記録するイベントへ発展しています。

### ○キッチンカー導入による地産外商

平成 27 年度、大洗町は地域資源の販路拡大を図るため、地方創生先行型交付金を活用し、移動調理販売車(キッチンカー)、水産物販売トラックの 2 台を整備しました。

また、平成 28 年には大洗町漁業協同組合、大洗水産加工業協同組合、大洗水産物仲買人協同組合が共同出資し、大洗町が整備した移動販売車輛の運営主体となる法人を設立しました。

現在、県内外のイベントにおいて主にキッチンカーが出店し、シラスやホッキ貝を使用した食の提供を通じて地産外商に取り組んでいます。

### ○漁業体験

大洗町では、漁業者の若手メンバーで構成される大洗町漁業研究会により、シラス漁業体験が行われています。

町内小学校 5 年生を対象とした漁業体験は平成 14 年より行われ、基幹産業である漁業への理解促進や前浜資源の提供による魚食普及に努めている一方、市場イベントの際には一般向け漁業体験を実施し、観光漁業としての取組を行っています。

### 3 活性化の取組方針

#### (1)前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

## (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

### 【所得向上の取り組み】

#### ①市場脇に整備する活魚施設での直売

町の交流人口450万人の中にあつて、市場周辺の東京かねふくめんたいパーク(年間100万人)、かあちゃんの店(年間10万人)の集客力を活かし、賑わいの拠点である市場脇に整備する活魚施設において、朝市など直接販売を行うことで仲買人に左右される魚価からの脱却を図り、魚価向上を目指します。

#### ②6次産業化の推進

漁協自らが水揚げされた魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等における食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。

#### ③資源管理の推進

共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理と魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量抑制を実施します。また、再生産した稚貝が砂浜で潮干狩り客に無秩序に採捕されないよう、潮干狩りルールの普及啓発に取り組めます。

県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。

#### ④大洗町が主催するイベントへの参加

市場イベント(年2回)のほか、あんこう祭り、福祉まつりなど、町が主催する来場者が多いイベントに積極的に参加し、地元水産物の提供を通じて魚食の普及、魅力発信を行います。

#### ⑤シラス漁業体験の実施

教育の一環として町内(2校)の小学生に漁業体験を行っていますが、町外の学校やイベント開催時には一般の方を対象としたシラス漁業体験を行い、漁業と係わりのない方にも漁業を身近に感じてもらい、交流を拓けていきます。

### 【コスト削減の取組み】

#### ①省力化・軽労化対策

漁業従事者の高齢化が進む中、漁業の持続発展には作業の省力化・軽労化が不可欠となっています。現在、手洗いにて行っている水揚げカゴ容器を自動洗浄するための設備を整備することで、省力化・軽労化を図り、作業時間短縮に伴う作業コストの削減を図ります。

#### ②燃油費高騰対策

燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。

また、燃油使用量の削減に向け、定期的な船底清掃を実施するとともに、漁獲量の調整、投網開始時間の設定など、減速航行による省エネ操業の取組を行います。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p>1. シラスの資源管理 シラスの操業時間は、日の出から午後 3 時までとする。また、毎週日曜日は休漁日とする。 (茨城県小型船漁業協議会による曳網漁業資源管理協定)</p> <p>2. ヒラメの資源管理 (1) 小型魚の保護のため、全長 30cm 未満のヒラメの水揚を規制している。(平成 7 年 1 月から委員会指示) (2) 那珂川以南で岸から 0.5 マイル～1 マイル以内において、11 月から翌年 6 月までの 8 ヶ月間操業禁止(平成 8 年 2 月から自粛)</p> <p>3. 鹿島灘はまぐりの資源管理 鹿島灘に面する大洗町漁業協同組合、鹿島灘漁業協同組合、はさき漁業協同組合の 3 つの漁協で構成する鹿島灘漁業権共有組合連合会では、資源保護と魚価安定のため、漁獲努力量の削減、水揚のプール制、漁具の改良などの資源管理を行うとともに、再生産した稚貝が砂浜で潮干狩り客に無秩序に採捕されないよう、潮干狩りルール の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p>4. 鹿島灘の固定式刺網(建網)の資源管理 鹿島灘漁業権共有組合連合会では、漁業者同士の協議により、漁期を通じて漁獲量の平準化、魚価安定のため、操業開始時期を年々遅らせるとともに、操業開始当初の漁具の長さを短縮している。</p> <p>5. イシガレイの資源管理 イシガレイの小型魚保護のため、小型機船底びき網漁業の操業区域のうち、岸から 1 マイル以内を禁止区域としている。</p>
--

(4) 具体的な取組内容(毎年ごとに数値目標とともに記載)

1 年目(平成 31 年度) ■所得 4.8% 向上

漁業収入向上のための取組	<p>① 本年度整備する直売機能を併せ持った活魚施設において実施する朝市等の取組を次年度以降実施するため協議会を設置し、販売手法を協議します。</p> <p>② 漁協自らが水揚された魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等においての食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。</p> <p>③ 共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理の取組として魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量を抑制します。 また、県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。</p> <p>④ 大洗町が主催する各種イベントに参加し、新鮮な前浜資源を提供することで、地元食材の魅力発信や魚食普及を目指します。</p> <p>⑤ 他市場の水揚状況を把握し、漁業者協議のもと漁獲量の調整など魚価向上の取組を行います。</p>
--------------	---

	⑥大洗新鮮組合同会社が運営するキッチンカー等を活用し、県外イベント等において大洗産水産物を使用した料理等を提供することで、地産外商の取組と認知度向上に努めます。
漁業コスト削減のための取組	①整備した自動カゴ洗浄機を活用することで、省力化を図り、作業労務費の削減を図ります。 ②燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。 ③漁業者が投網開始時間の設定や水揚の順番制などを協議し、効率的な操業を行い省燃油の取組を行います。 ④定期的な船底清掃を実施し、省燃油の取組を行います。
活用する支援措置等	浜の活力再生・成長促進交付金 …… 収入向上①～⑤, コスト削減①、③～④ 水産多面的機能発揮対策事業 …… 漁村文化等の教育・学習 漁業経営セーフティーネット構築事業 …… コスト削減②

2年目(平成 32 年度) ■所得 7.0%向上

漁業収入向上のための取組	①整備した活魚施設において漁協自らが活魚を高値で買取り、朝市などの直接販売の取組を行います。 ②漁協自らが水揚された魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等においての食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。 ③共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理の取組として魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量を抑制します。 また、県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。 ④大洗町が主催する各種イベントに参加し、新鮮な前浜資源を提供することで、地元食材の魅力発信や魚食普及を目指します。 ⑤他市場の水揚状況を把握し、漁業者協議のもと漁獲量の調整など魚価向上の取組を行います。 ⑥大洗新鮮組合同会社が運営するキッチンカー等を活用し、県外イベント等において大洗産水産物を使用した料理等を提供することで、地産外商の取組と認知度向上に努めます。
漁業コスト削減のための取組	①自動カゴ洗浄を効率的に活用するため、グループ制、当番制などを検討し、更なる省力化を目指します。 ②燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。 ③漁業者が投網開始時間の設定や水揚の順番制などを協議し、効率的な操業を行い省燃油の取組を行います。 ④定期的な船底清掃を実施し、省燃油の取組を行います。

活用する支援措置等	浜の活力再生・成長促進交付金 …… 収入向上①～⑤, コスト削減①、③～④ 水産多面的機能発揮対策事業 …… 漁村文化等の教育・学習 漁業経営セーフティーネット構築事業 …… コスト削減②
-----------	--

3年目(平成 33 年度) ■所得 9.1%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①初年度の朝市の取組を発展させ、月 2 回実施します。 また、顧客のニーズにあったサービス(下処理サービスなど)を提供し、更なる顧客を獲得することで販売量の増加を目指します。</p> <p>②漁協自らが水揚げされた魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等においての食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。</p> <p>③共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理の取組として魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量を抑制します。 また、県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。</p> <p>④大洗町が主催する各種イベントに参加し、新鮮な前浜資源を提供することで、地元食材の魅力発信や魚食普及を目指します。</p> <p>⑤他市場の水揚げ状況を把握し、漁業者協議のもと漁獲量の調整など魚価向上の取組を行います。</p> <p>⑥大洗新鮮組合同会社が運営するキッチンカー等を活用し、県外イベント等において大洗産水産物を使用した料理等を提供することで、地産外商の取組と認知度向上に努めます。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①自動カゴ洗浄を効率的に活用するため、グループ制、当番制などを検討し、更なる省力化を目指します。</p> <p>②燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。</p> <p>③漁業者が投網開始時間の設定や水揚げの順番制などを協議し、効率的な操業を行い省燃油の取組を行います。</p> <p>④定期的な船底清掃を実施し、省燃油の取組を行います。</p>
活用する支援措置等	浜の活力再生・成長促進交付金 …… 収入向上①～⑤, コスト削減①、③～④ 水産多面的機能発揮対策事業 …… 漁村文化等の教育・学習 漁業経営セーフティーネット構築事業 …… コスト削減②

4年目(平成 34 年度) ■所得 11.3%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①朝市を持続発展させ、月 2 回開催するとともに、飲食店・宿泊施設向け販売を仲買人組合との協議のもと検討します。</p> <p>②漁協自らが水揚げされた魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等においての食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。</p>
--------------	---

	<p>③共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理の取組として魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量を抑制します。</p> <p>また、県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。</p> <p>④大洗町が主催する各種イベントに参加し、新鮮な前浜資源を提供することで、地元食材の魅力発信や魚食普及を目指します。</p> <p>⑤他市場の水揚状況を把握し、漁業者協議のもと漁獲量の調整など魚価向上の取組を行います。</p> <p>⑥大洗新鮮組合同会社が運営するキッチンカー等を活用し、県外イベント等において大洗産水産物を使用した料理等を提供することで、地産外商の取組と認知度向上に努めます。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①自動カゴ洗浄を効率的に行うため、グループ制、当番制を導入し、更なる省力化を図ります。</p> <p>②燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。</p> <p>③漁業者が投網開始時間の設定や水揚の順番制などを協議し、効率的な操業を行い省燃油の取組を行います。</p> <p>④定期的な船底清掃を実施し、省燃油の取組を行います。</p>
活用する支援措置等	<p>浜の活力再生・成長促進交付金 …… 収入向上①～⑤, コスト削減①、③～④</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業 …… 漁村文化等の教育・学習</p> <p>漁業経営セーフティーネット構築事業 …… コスト削減②</p>

5年目(平成 35 年度) ■所得 13.5%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①朝市を持続発展させ、月 2 回開催するとともに、飲食店・宿泊施設向け販売を常時開始します。</p> <p>②漁協自らが水揚された魚介類を高値で買取り、直営のかあちゃんの店等においての食材使用度を増やすことで魚価向上を目指します。</p> <p>③共同漁業権が設定されている鹿島灘はまぐりについて、資源管理の取組として魚価向上に繋がる小玉サイズの漁獲量を抑制します。</p> <p>また、県栽培漁業センターにおいて生産したヒラメ、はまぐり、アワビなどの種苗放流や小型魚・貝の保護を引き続き行います。</p> <p>④大洗町が主催する各種イベントに参加し、新鮮な前浜資源を提供することで、地元食材の魅力発信や魚食普及を目指します。</p> <p>⑤他市場の水揚状況を把握し、漁業者協議のもと漁獲量の調整など魚価向上の取組を行います。</p> <p>⑥大洗新鮮組合同会社が運営するキッチンカー等を活用し、県外イベント等にお</p>
--------------	--

	いて大洗産水産物を使用した料理等を提供することで、地産外商の取組と認知度向上に努めます。
漁業コスト削減のための取組	①自動カゴ洗浄を効率的に行うため、グループ制、当番制を導入し、更なる省力化を図ります。 ②燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティーネットへの加入を継続します。 ③漁業者が投網開始時間の設定や水揚の順番制などを協議し、効率的な操業を行い省燃油の取組を行います。 ④定期的な船底清掃を実施し、省燃油の取組を行います。
活用する支援措置等	浜の活力再生・成長促進交付金 …… 収入向上①～⑤, コスト削減①、③～④ 水産多面的機能発揮対策事業 …… 漁村文化等の教育・学習 漁業経営セーフティーネット構築事業 …… コスト削減②

(5)関係機関との連携

行政(茨城県、県水産試験場)、関係機関(大洗観光協会、茨城沿海地区漁業協同組合連合会など)、民間事業者(大洗新鮮組合同会社等)と連携し、プランの実現に向けて取組む。
--

4 目標

(1)所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 29 年度: 漁業所得
	目標年	平成 35 年度: 漁業所得

(2)上記の算出方法及びその妥当性

別添算出資料を参照。
------------

(3)所得目標以外の成果目標

資源管理の取組として、鹿島灘はまぐりの小・小小銘柄比率を抑制する。	基準年	平成 27 年度～29 年度平均比率 17%
	目標年	平成 35 年度比率 10%以下

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。
1. H27-H29 はまぐり全体漁獲量(81.46トン)に対し、小・小小サイズはまぐり漁獲量(12.05トン)
2. 上記割合 15%(H27-H29 各年平均割合 17%)
3. 資源管理の取組として、小・小小サイズの漁獲制限努力により同銘柄の比率を 10%以下とする。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
浜の活力再生・成長 促進交付金	活魚施設の整備 かあちゃんの店などで賑わう市場に隣接させた活魚施設を整備し、朝市などの直接販売を行うことで魚価向上を目指す。
浜の活力再生・成長 促進交付金	カゴ容器自動洗浄設備整備 漁労作業の省力化対策、漁業コスト削減対策として整備
浜の活力再生・成長 促進交付金	鹿島灘はまぐり資源を持続的に利用していくために、稚貝の密漁防止に努め、資源管理を進めていく。
水産多面的機能発揮 対策事業	漁業体験による漁村文化等の教育・学習
漁業経営セーフティ ーネット構築事業	燃油費高騰対策として、漁業経営セーフティネットへの加入を継続する。